

部課名		文化スポーツ振興部文化振興課											
課の使命		「町田市文化芸術のまちづくり計画(2026年4月～)」に掲げる目指す姿「文化芸術を育み 笑顔咲くまち ～町田で Let's stART～」の実現に向け、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつながるまちをつくります。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	個別 計画	「まちだsmile-link project(スマイルリンクプロジェクト)」の実現	「町田市文化芸術のまちづくり計画」に掲げる目指す姿に向けて、「まちだsmile-link project(スマイルリンクプロジェクト)」を実現し、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていきます。 ProjectA「文化芸術で”みんなの夢”を叶える」では、2027年4月から市民の皆さんが”文化芸術のやりたい”を叶えられる取組をスタートできるよう、事業立案し、周知するとともに、公募を開始します。	ProjectA「文化芸術で”みんなの夢”を叶える」実施に向けた公募の開始	開始完了								
2	個別 計画	文化芸術の きっかけづくり	誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できるよう、文化芸術イベントを実施します。そして、さまざまな人々が一緒に楽しめる場をつくり、文化芸術を身近に感じる機会を広げるとともに、感動や特別な時間を得る機会を提供することで、はじめの一歩となるきっかけをつくります。	市内で文化芸術活動・鑑賞する機会を持つことができた市民の割合	19%								
3	事務個 事別 事業計画 見直し	文化芸術活動の 場づくり	文化芸術活動のための新たな練習の場や制作の場を増やすため、2025年度に整理した市内文化芸術施設の現状分析を参考に、文化芸術施設のあり方をまとめます。 2027年度から新たな指定期間となるフォトサロン・町田市民ホール・和光大学ボプリホール鶴川については、2025年度に決定した業務基準書等に沿って次期指定管理者の選定を行います。また、適正かつ効果的に施設を管理運営できるよう、次期指定管理者と協議を行います。	①文化芸術施設のあり方に関する方針の策定 ②次期指定管理者との基本協定締結	①完了 ②完了								
4	全庁 で個別 取組計画 画む／ 施策	文化芸術を未来につなぐ (文化芸術の継承)／子どもにやさしいまちの実現	子どもたちの文化芸術を「する」体験を増やすため、子どもたちとアーティストとの共演や共作等が行える体験型のワークショップを開催し、市内で育まれてきた歴史やアーティスト等が研鑽してきた技術等を学び、受け継いでいきます。	体験型ワークショップ参加者の満足度	90%以上								
5	その他	多文化共生の 推進に向けた 取組	2025年度に整理した事業区分に基づき、国際交流センターと協議を進め、新たな外国人支援体制の方向性を決定します。また、2027年度から方針に沿った運用を行うため、その実施体制を整えます。	新たな外国人支援体制の構築	方向性の決定と実施体制づくり完了								
6	人材 育成	「チームワーク志向」	課内における職員間のコミュニケーションをより円滑にするため、全員で手話を学ぶことで、課の組織力の向上を図ります。	手話を使ったコミュニケーションで朝礼時に業務上の意志伝達が行える職員の数	4人								

部課名		文化スポーツ振興部スポーツ振興課											
課の使命		スポーツをする場所や機会を提供するとともに、スポーツ支援活動を支えることで、市民の健康で明るく豊かな生活を実現します。 また、身近な生活の中でトップレベルのスポーツ等に親しむことができる環境を整え、活力ある社会を構築します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認		年度末確認					
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	町田木曽山崎 パラアリーナ 整備	性別や年齢、障がいの有無や種別に関わらず、スポーツに親しみ楽しむことを通じた共生社会の実現に向けて、その中心的な役割を担うパラアリーナを整備します。2026年度は事業者と連携し、関係団体等からの意見収集を含め、基本・実施設計を行うとともに、整備工事に着手します。 また、基本・実施設計の円滑かつ適正な履行を確認するため、専門的なコンサルティング業者の支援により、モニタリングを実施します。	整備事業の進捗状況	基本・実施設計完了及び整備工事着手								
2	／ 全庁で 取り組 む施策	パラスポーツの普及啓発・理解促進／「障がいの者への差別を解消し共生社会の実現」	共生社会の実現に向けて、スポーツを親しみ楽しむことを通じ、パラスポーツの普及啓発や障がいの理解促進を図ります。また、2028年度に供用開始予定の町田木曽山崎パラアリーナの運営を見据え、パラスポーツ関係団体等と連携・協力し、既存のスポーツ施設等を活用した、パラスポーツイベントや体験会等を実施します。	関係団体と連携した事業数	6事業								
3	重点 事業 プラン	ホームタウンチームとの連携	市は、スポーツによるまちづくりを推進するため、スポーツをはじめ環境、福祉、健康など多様な分野でホームタウンチームと連携しています。 これらの取り組みを広報紙やホームページ、X、横断幕などを通じて広く発信し、地域貢献活動への理解促進とシビックプライドの醸成を図ります。	広報等周知活動の取組回数	280回								
4	個別 計画	スポーツを支える人材の確保	市民ボランティア「まちだサポーターズ」が、組織として継続的に活動できるようにするため、新規会員の獲得と既存会員への啓発の両面から周知活動を展開します。 新規会員の獲得については、特に若年層の加入を促すため、新たに大学や企業へ働きかけるほか、広報紙やイベントスタジオを活用して会員数の増加を図ります。 既存会員に対しては、活動の魅力ややりがいなどを改めて啓発することで、活動への意欲向上と定着を促します。	①周知活動の回数 ②新規会員登録者数	①10回 ②30人								

年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
5	個別 計画	大学・企業等 所有スポーツ 施設の市民利用	市民のスポーツを「する」環境をさらに充実させるとともに、今後、大規模改修工事を予定している、町田市立総合体育館の利用者のスポーツ機会の確保につなげるため、大学・企業等が所有する施設を利用できるよう、協議・調整を進めます。	市民が利用できる大学・ 企業等のスポーツ施設 数	4施設								
6	人材 育成	「改革・改善志 向」	職員の改革・改善志向を育むため、定例の課内連絡会にて業務改革・改善の提案を行う場を設けます。 提案内容については、定期的に課員全体で共有するとともに、担当間で意見交換する場を設け、改革・改善の意識を醸成します。	改革・改善提案件数	3件								

部課名		文化スポーツ振興部美術館課											
課の使命		誰もが文化芸術に親しむことができるよう、優れた美術作品に触れる機会や、創作・発表の場を提供する活動に取り組みます。 そのための美術作品の収集・保存・研究、展覧会と教育普及活動、文化振興やブランドイメージ向上のための情報発信を行います。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	魅力的な展覧会やイベントの開催	①「講演会×鑑賞会「ココがすごい！ 版美のコレクション」や「プレイバック！ミレニアム1991→2001：版画が／版画で越えた境界」展、「うき世のたわむれ：笑いつづける浮世絵と幕末明治の渦」展など、収蔵品を活用した新規性に富むイベントや展覧会を実施し、収蔵版画作品の魅力を普及するとともに、より多くの方が文化芸術に触れられる機会を提供します。 ②より多くの人に工芸美術を楽しんでいただくため、収蔵作品の新たな魅力を引き出す展覧会や体験講座、ブース出展などのイベントを実施します。	①国際版画美術館での企画展・特集展示の観覧者数 ②工芸美術の魅力を伝える出張展覧会とイベント回数	①95,000人 ②58回								
2	／ 全庁で 取り 組む 施策	子どもが美術に触れる機会の創出／「子どもにやさしいまちの実現」	①国際版画美術館の活動を知り、版画に親しみをもていただくため、施設や収蔵品を活用した魅力あるイベントを開催し、子どもたちが文化芸術を「する」体験をする場を増やします。 ②市内の学校に通う子どもが誰でも工芸美術に親しめる環境整備を目的に、学校と連携して工芸制作プログラムを実施するため、プログラムの共同研究を行う協力校を選定します。 ③市内の小中学校で工芸美術に関する出張授業を行い、より多くの子どもが美術に親しむ機会を増やします。	①子ども向け版画鑑賞・制作イベント回数 ②工芸制作プログラムを実施する協力校数 ③工芸美術に関する出張授業数	①9回 ②3校 ③15コマ								
3	-	SNSを活用した情報発信	①美術を楽しむ人と来館者を増やすとともに、ブランド価値の向上を図るため、国際版画美術館の活動や収蔵品に関する情報、館内の建築美、四季折々移り変わる芦ヶ谷公園の風景などをSNSで積極的に発信します。 ②博物館が所蔵する工芸作品などの積極的な紹介と合わせて、工芸イベント情報を発信することで参加を促し、(仮称)国際工芸美術館開館への機運を高めます。	①国際版画美術館のX及びInstagramの投稿回数 ②博物館のX及びInstagramの投稿回数	①380回 ②240回								
4	人材 育成	「チームワーク志向」	課全体で”芸術の杜”推進事業を進めるため、国際版画美術館、博物館、美術館整備担当間で連携して幅広い年齢層に向けた新たなイベントを開催し、多くの方が文化芸術に触れられる機会を提供します	国際版画美術館、博物館、美術館整備担当で連携した新たなイベントの開催回数	4回								
5	事務 事業 見直し	「改革・改善志向」	施設運営コスト上昇への対策として、観覧料について他の美術館の状況を分析し、受益者負担の適正化を図ります。	有料企画展観覧料	見直し								

部課名		文化スポーツ振興部美術館課 美術館整備担当											
課の使命		町田市中心市街地に隣接する緑豊かな都市公園である芹ヶ谷公園に、(仮称)国際工芸美術館、(仮称)公園案内棟／喫茶／版画工房／アート体験棟、アート出会いの広場を整備するプロジェクト「芹ヶ谷公園“芸術の杜”」によって、まちに新たな賑わいと交流を生みだすとともに、町田市全体の魅力向上、ブランド価値の向上を目指します。											
実行計画(年度目標)													
年度目標設定						中間確認			年度末確認				
順位	計画 類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進 捗 状 況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評 価	評価の 視点	課題と対応
1	重点 事業 プラン	芹ヶ谷公園 “芸術の杜” の計画の見直し	これまで進めてきた芹ヶ谷公園“芸術の杜”について、昨今の物価高騰や技術者不足による入札不調などの社会情勢の変化を踏まえる必要があるため、より実現性の高い事業計画に見直します。 今後の進め方について、地域住民を含めた市民からご意見を伺ったうえで、施設の配置計画や規模等、全体デザインの再構築に向けた市民参加型のワークショップ等を実施します。	芹ヶ谷公園“芸術の杜” の実現に向けた計画の 見直し状況	市民参加型の ワークショップ 等の開始								
2	重点 事業 プラン	芹ヶ谷公園 “芸術の杜”実現 に向けた機 運醸成の取組 み／「シティブ ロモーション」	芹ヶ谷公園が“芸術の杜”として町田の多様な文化芸術活動の拠点となり、より多くの人に愛される公園となるように育て盛り上げていくための取組みや、公園とまちなかの回遊性を高める取組みを進め、町田ならではの魅力を発信していきます。	“芸術の杜”関連イベント の参加者のうち、“芸術 の杜”プロジェクトの実現 を楽しみにしている人の 割合	96%								
3	／重点 事業 プラン 見直し	財源確保の取 組み	補助金や企業版ふるさと納税による、新たな財源の確保を進めます。“芸術の杜”の実現に関心持つ民間事業者に対しては、企業版ふるさと納税の更なる周知を行います。	新規の補助金の活用ま たは当課の周知活動に よる企業版ふるさと納税 寄付の合計件数	1件								
4	人材 育成	「チームワーク 志向」	課全体で“芸術の杜”推進事業を進めるため、国際版画美術館、博物館、美術館整備担当間で連携して幅広い年齢層に向けた新たなイベントを開催し、多くの方が文化芸術に触れられる機会を提供します	国際版画美術館、博物 館、美術館整備担当で 連携した新たなイベント の開催回数	4回								